

●人道教育論 一冊 (ラルフ、ワルド、トライン原著) 木下 祥 眞譯

翻刻自由の銘打つたる所、先づ記者の心のゆかしさを知るべし。最も平易に人間教育の道を記載したり、是非お母さん方の一讀再讀を堪はしたきものなり。小さき子供を教へて、動物や下級のものに對して殘酷ならぬやさしき心情を養はんとする人には特に本書を推薦す (發行所 東京神田區南甲賀町八、内外出版協會)

會 報

第廿九常會

明治三十六年六月十三日午後一時三十分より番町小學校附屬幼稚園に於て開會、小泉又一君の演説(歐米にて觀察したる幼稚園)并に會員相互の隨意談話ありて午後五時閉會したり、出席者は客員尾田信忠君會員四十餘名なり。

入 會

神奈川縣横須賀町沙留三一 全 横須賀小學校

右紹介松岡幸

福本ゆき 橋本たへ

深川區佐賀町一ノ四三

右紹介東基吉

蕪町區山元町三ノ四

四谷北伊賀町廿七

蕪町區三番町二五

全 三番町一二竹内方

四谷區豐筈町三九岩田清三郎方

右紹介大橋いぬ

埼玉縣北足立郡大宮町一三一

島根縣瀧田町新町

右紹介波多野とく

遠江國濱松高等女學校

千葉縣千葉町教員養成所

右紹介中村五六

神戸市立幼稚園

全 一ノ三三

右紹介大島小春

蕪町區富士見町二ノ一八

右紹介榎本つね

全 一ノ三三

右紹介雨森劔子

本郷區春木町三丁目森方

四谷區愛住町七六

右紹介下田龜

西村もと

奥野まさ

鈴木しげ

井上たま

川北千代

落合くめ

小林きせ

右田るい

林 節

脇谷しげ

平河長子

清野くに

尾立とみ

柳原英子

小貝貞子

府下王子村十五

日本橋區橫山町一ノ二

麴町區紀尾井町六

信濃國松本飯田町

改姓

轉居

橫濱市伊勢町二ノ五五へ

鳥取市東町二一〇へ

麻布區飯倉三ノ一一へ

麴町區四番町六番地へ

神田區仲猿樂町十七との九へ

清國武昌へ

麴町區下六番町四八へ

四谷愛住町愛住幼稚園へ

麴町區麴町二ノ九

麴町區準町三六小林内

牛込區新小川町二ノ一

右紹介松田とし

右紹介山田糸

右紹介齋藤みね

改富岡

改田中

清水みつ

山田梅

御木本みね

藤森貞子

佐藤むめ

阿部好

佐和山たか

岡澤やへ

利光しづ

津原ちか

佐藤むめ

戸野みちゑ

浅田つる

三好芳

楠田むつ

柴岡照

小岩ゑい

金額

會費領收

自三十六年五月二十一日 至同六月二十五日

自何年何月 至何年何月

姓名

寺島とみ

安達かつ

渡邊千代

飯野ふみ

松村ひさ

箱石孝藏

下田たづ

永以待枝

右田るい

矢野ふさ

鳥居鏡三郎

佐和山たか

尾立さみ

清野くに

柳原英子

飯山らん

森山房

六〇

五〇

七〇

八〇

六〇

一九〇

五〇

五〇

一二〇

一二〇

五〇

五〇

五〇

六〇

一二〇

一〇〇

一〇〇

五〇

一〇〇

一〇〇

一〇〇

一〇〇

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

一〇

五九

二六

一六

一六

二六

一六

一六

一六

一六

一八

四四

四五

一八

四九

五五

二七

二二

一一

二五

〇六

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇

一〇





